

寺西小学校へ出張授業についての報告

宗岡洋二郎

寺西小学校より自然体験学習の手伝いを依頼され、今年も4年生（177名）による黒瀬川水生生物の調査（ふる里探検！黒瀬川）に参加した。

当日（9月3日）は8：30に小学校に行き、8：45から、校庭において、地域のボランティアの方々、マスタース幹事の原野先生や小学校の先生方と児童との顔合わせを行ったのち、黒瀬川大門橋付近の川に向かって出発した。川のほとりの広場で魚捕りその他についての注意点を説明し、さっそく川に入っていく。川土手は前もって地域の方々によって草刈りがされており、川に下る道には、すべって転げないように、むしろが敷いてあった。

捕獲できた魚はカワムツ、ドンコ、カマツカ、オオグチブラックバス、ブルーギル、カワヨシノボリなどであり、捕獲はできなかったがムギツクの生息が観察できた。魚以外の水生生物としてはエビ、シジミ、数種の水生昆虫などであった。

今年で確か4度目の調査活動への参加だと思うが、毎年魚の種類、大きさ、数が減少しており、今年は特にそれが目立っていた。水はきれいになっているのになぜだろうと不思議に思い、少し調査範囲を拡げて、私1人で上流の方を調べたところ、30-40cmのブラックバスを十数匹確認した。多分この外来魚などによって小魚が喰われているのだろうと推測した。一昨年は無数に泳いでいたオイカワなどは一匹も観察できなかった。

私の住んでいる志和町内のある池にはメダカが多数いて、一回行けば1,000匹ぐらいは簡単に捕獲できたが、誰かがブラックバスを放流したとのうわさを聞いてから3か月ぐらいを経てその池に行ってみたら、メダカは一匹もいなくなっていた。外来魚の被害の程度は我々が想像する以上のものである。



黒瀬川での調査を終え、広場に再び集まり、地域の方々が用意して下さった飲み物を児童たちと共に頂いたあと小学校に帰った。その後、11:00頃から講堂に集まって、寺西女性会会長の片山さんの環境保護活動についてのお話を伺った。十数年にわたり黒瀬川の水質浄化活動と水質調査活動なさっており、その結果をグラフにしたものをお見せいただいたが、水質は毎年確実に向上しているという結論だった。

片山さんのお話のあと、私が黒瀬川の魚の種類や生態及びホタルの生態や発光のしくみなどをパワーポイントを使用して説明し、ルシフェリン、ルシフェラーゼ、ATPの3薬物を混ぜると、ホタルの発光細胞内での化学反応と同じことが起こり、試験管内で光が生じることを実際にやって見せた。

12:00までに以上の出張授業を終え、教頭先生に送っていただいて帰宅した。例年のことで、どこへ出張授業しても感じるのだが、地元の方々のボランティアによる援助には頭が下がる。今回の出張授業もこのような援助によって滞りなく遂行することができた。心より御礼を申し上げて報告を終わりとす。